

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和8年3月10日

事業所名：学び舎りぐ 三本橋舎

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2 職員の配置数は適切であるか	○		・加配職員を配置し、手厚い支援を提供しています。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○		・事業所設備は、福祉のまちづくり条例に適合しています。	・階段が急で怖いという意見があります。昇降の際は、職員が必ず付き添い、安全に配慮しています。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		・職員ミーティングによる業務の振り返りを実施しています。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		・保護者様向け評価表に施設独自の質問を追加して、より詳しいニーズ把握に務めています。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	・現在のところ、外部評価の導入は行っていません。 ・保護者様のご意見を積極的に伺い、業務改善につなげています。	・外部評価を行い、きょうと福祉人材育成認証制度の上位認証の取得の計画をしています。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		・外部研修の機会を設け、積極的に取り組んでいます。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		・定期カンファレンス、保護者定期懇談を経て作成しています。	
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・Vineland-IIの導入を計画しています。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		・職員ミーティングで話し合い立案しています。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		・基本プログラムの他に月ごとに取り組むプログラムを変更しています。 ・理学療法士による専門プログラムも取り入れています。	・臨床心理士による専門プログラムの導入を計画しています。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		・休日や長期休暇は社会体験を通じた学びが多くできるように設定しています。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		・伝達事項等は記録や共有アプリにて情報共有を図っています。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		・同上	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		・支援記録をもとに定期カンファレンスを実施し、支援の評価と改善に努めています。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		・同上	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	○		・令和6年度のガイドラインの改訂に準じています。		

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		・原則的には管理者が参加しています。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		・学校の急な予定変更にも対応しています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	—	—	・対象外	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		・口頭連絡や、支援経過報告書等を通じて情報共有を行っています。 ・引き継ぎ書でも情報共有にも取り組んでいます。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	—	—	・対象となる利用者がまだいません。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		・必要に応じて利用児についての情報共有を行っています。 ・市内の児童発達支援センターの主催する連絡会や研修会にも参加しています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○		・令和6年度より参加しています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・基本的には連絡帳と口頭連絡、SNSツールによる連絡体制をとっています。 ・定期面談と都度面談も実施し、情報共有に努めています。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		・集団でのペアレントトレーニングは実施していませんが、個別での保護者支援に積極的に取り組んでいます。		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		・利用契約時に、重要事項の説明を実施しています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		・定期面談や都度面談を実施しています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		・保護者様が参加できるイベントを複数回開催しました。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		・マニュアルを整備しており、事例発生時には迅速かつ誠実に対応できるよう努めています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		・SNSツールにより、発信しています。	
	35	個人情報に十分注意しているか	○		・同意書による意向確認を行っています。 ・職員にも誓約書を交わしています。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		・保護者とのコミュニケーションを密にし、齟齬が生じないように配慮しています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	・挨拶等、地域の方に受け入れられる事業所づくりを心がけています。	・地域の方が参加対象となる行事の開催を検討します。

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		・各種マニュアルは共有パソコンにて閲覧が可能。保護者様には契約時に、口頭と書面にて説明しています。	
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		・BCPを作成し、シミュレーション訓練を実施しています。	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・外部研修・内部研修の機会を設け、積極的に取り組んでいます。 ・虐待防止委員会を定期的に開催しています。	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		・マニュアルを整備していますが、現在のところ対象者はいません。 ・身体拘束適正化委員会を定期的に開催しています。	
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		・初回のアセスメント時に確認し、職員間でも共有しています。	
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		・事例発生時には、当日あるいは次の日の職員ミーティングにて共有しています。	